

## 件 名

---

第34回埼玉県産業教育フェアについて

## 提出理由

---

第34回埼玉県産業教育フェアの実施状況について、別紙のとおり報告します。

## 概 要

---

- 1 目的
- 2 事業概要
  - (1) 開催期間等
  - (2) 生徒実行委員会
  - (3) 開催内容
- 3 成果と課題
  - (1) 成果
  - (2) 課題と今後の方向性

# 1 目的

専門高校等の生徒による学習成果の発表等の活動を通じて、生徒の技術力・創造性や課題解決能力、コミュニケーション能力等の向上を図るとともに、産業教育の魅力と役割を紹介し、広く県民の関心と理解を高めることを目的とする。

# 2 事業概要

## (1) 開催期間等

主催	埼玉県教育委員会、埼玉県産業教育振興会
共催	(公財)埼玉県産業文化センター、(公財)埼玉県産業振興公社、(一社)埼玉県経営者協会
開催期間	令和6年11月9日(土)
会場	大宮ソニックシティ(地下展示場・2階小ホール・4階市民ホール・イベント広場)、鐘塚公園
スローガン	桜梅桃李(おうばいとうり)* ～ふるさとから羽ばたけ交流と産業の輪～

\*桜梅桃李：それぞれが独自の美しい花を咲かせるように、他人と自分を比べることなく、個性を磨くこと

第34回  
埼玉県  
産業教育フェア  
桜梅桃李  
～ふるさとから羽ばたけ  
交流と産業の輪～  
彩の国 専門高校生によるフェスティバル  
農業・工業・商業・家庭・看護・福祉



令和6年 11/9 (土) 入場無料  
会場:ソニックシティ  
地下展示場・4階市民ホール・イベント広場・鐘塚公園

問合せ先 埼玉県教育委員会 学校部 高校教育指導課  
産業教育・キャリア教育担当  
TEL: 048-830-6769  
主催 埼玉県教育委員会、埼玉県産業教育振興会  
ポスター原画 埼玉県立熊谷総合技術高等学校 デザイン 杉本 穂谷田 望未

## 2 事業概要

### (2) 生徒実行委員会

フェアを運営する専門高校の代表生徒24名で構成

企画・立案 (5月~7月)

PR活動 (8月~11月)

当日 (11月9日)



スローガン、ポスターの決定  
イベントの企画立案、協議、  
広報活動の方法を検討



ポスター制作・配布



専門高校PRイベント  
会場：イオンレイクタウン



FM NACK 5 でのCM打合せ



生徒実行委員会

**【当日の運営】**  
 専門高校 ×クイズ・受付担当  
 ファッションショー放映  
 アンケート・スタンプラリー  
 盛り上げイベント【新規】



Instagram【新規】・ホーム  
ページの開設・運用開始



専門高校PRイベント  
会場：丸広百貨店 (川越)



大宮駅周辺店舗にポスター  
掲示、協力店MAPを作成



大宮駅東口大型ビジョン  
デジタルサイネージCM撮影



総合受付

## 2 事業概要

### (3) 開催内容

専門高校生による学習体験教室 【会場：第1～5展示場】

#### 【農業部会】

熊谷農業高校

コースターを作ってみよう！

廃材の樹木に半田ごてを使用し絵を描いて、オリジナルコースターを作る体験



#### 【商業部会】

八潮南高校、狭山経済高校

マイクロビットプログラミング体験

簡単なプログラムの入力を体験



#### 【家庭・看護・福祉部会】

鴻巣女子高校

松ぼっくりツリーをつくろう

塗装された松ぼっくりに装飾してクリスマスツリーを製作する体験



#### 【工業部会】

三郷工業技術高校

LEDを利用したオブジェ

基板上で配線を行いLEDでオブジェを点灯させる体験



## 2 事業概要

### (3) 開催内容

学習成果物の販売 【会場：鐘塚公園】

【農業部会】 熊谷農業高校・杉戸農業高校・川越総合高校  
いずみ高校・秩父農工科学高校

農作物・加工品等の販売

生徒が栽培した野菜・お米のほか、生徒が加工した菓子や蜂蜜などを販売  
大根、きゅうり、ブロッコリー、お米、クッキー等



【商業部会】 熊谷商業高校・岩槻商業高校・大宮商業高校  
皆野高校

開発商品等の販売

生徒が市場調査し、試作を重ねて開発した商品を販売  
どら焼き、みそぽてサブレ、ドールかすてら、久助等



### 【アイデア弁当の販売】

令和5年度のアイデア弁当コンテストで、教育長賞を受賞した  
「みんな大好き弁当」

川越総合高校の生徒がレシピを考え、有限会社サポートと連携し、商品化して販売



レシピ考案：川越総合高校

商品化：有限会社サポート

販売：生徒実行委員会

## 2 事業概要

### (3) 開催内容

各種コンテスト及び表彰式 【会場：第1展示場】

専門  
高校生

#### アイデアロボットコンテスト

キャリアロボットやロボット相撲の各部、ライトレース部門による競技会 参加者：15校、生徒53名

#### リテールマーケティングコンテスト

マーケティング分野の学習を実践的な知識へ進化させるコンテスト 参加者：8校、生徒24名

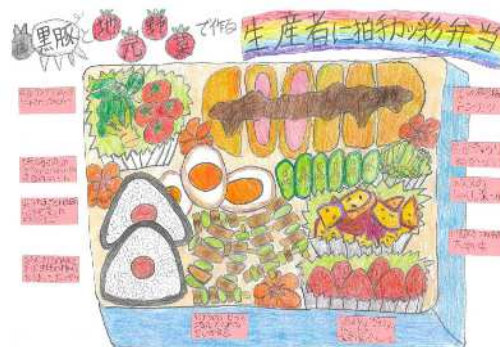
#### アイデア弁当コンテスト（応募作品274作品）

募集テーマ「～私たちの住んでいる埼玉をアピール～みんなを幸せにする埼玉ご自慢弁当」

#### 夢の電車イラストコンテスト（応募作品342作品）

募集テーマ「わたしが乗りたい夢の電車」

小学  
生



アイデア弁当コンテスト  
教育長賞受賞作品



夢の電車イラストコンテスト  
教育長賞受賞作品

マイスター・ハイスクール発表会及び感謝状贈呈式 【会場：小ホール】

#### ○マイスター・ハイスクール発表会

テーマ：「マイスター・ハイスクールと私」

内容：企業の技術者による授業や初めての取組である学科横断型の授業を体験した生徒が、自身に生まれた心境の変化や工業に対する興味について、それぞれの視点から発表した。卒業生も参加し、事業を通じて学んだことを後輩に伝えた。

#### 感謝状贈呈

- 株式会社サンスター・クオリティソフト株式会社・株式会社大塚商会
- 株式会社NTTデータ・日信電設株式会社・古郡建設株式会社
- 吾妻工業株式会社・株式会社新和測機・埼玉県環境科学国際センター
- 富士電機機器制御株式会社・学校法人日本航空学園 日本航空大学校 北海道
- 沖電気工業株式会社・AGS株式会社・株式会社インフォマティクス



発表会の様子



関連企業に教育委員会から  
感謝状の贈呈

## 2 事業概要

### (3) 開催内容

#### 専門高校盛り上げイベント・キッチンカー誘致（生徒新企画イベント） 【会場：イベント広場】

##### ○集客を増やし埼玉県産業教育フェアを盛り上げることを目的に、生徒が企画したイベント

ダンスパフォーマンス（大宮商業高校ダンス部、久喜工業高校ダンス同好会、川越総合高校ダンス同好会）

チンドンパフォーマンス（大宮駅から会場までを練り歩いて宣伝）（幸手桜高校演劇部）

応援パフォーマンス（熊谷高校応援団・吹奏楽部）

##### ○キッチンカー

食事に関する出店が少ないため、卒業生や専門高校と連携しているキッチンカーを誘致

クレープ、ホットスナック、綿菓子、ピザ、コッペパン等

参加団体名：Outdoor Crepes ニーズ【ny's】そらいふ



ダンスパフォーマンス



チンドンパフォーマンス



応援パフォーマンス

#### お仕事図鑑pitchトーク【新規】（埼玉県産業教育フェアと同時開催） 【会場：市民ホール】

○発表者：県内外の民間企業や公共機関等に勤務する社会人 計98名

○児童生徒の参加者：小中高生及びその保護者 約200名

○特別ゲスト：TBS CSR推進室 豊田綾乃氏

TBSアナウンサー 蓮見孝之氏

○イベント内容：

多様なキャリアパスを持つ社会人が、児童生徒に向けて仕事のやりがいや生きがいについて直接語る場を提供する。

児童生徒は将来のキャリアについて考えるきっかけを得るとともに、短時間で効果的に自分の考えや思いを伝えるpitch（プレゼンテーション）の実例を体感する。



オープニングトーク（特別ゲスト）



pitchトークの様子

## 2 事業概要

### (3) 開催内容

#### 生徒実践発表 【ホームページ】

##### 【農業部会】

杉戸農業高校：#何年も、何十年先も～米粉で繋ぐお米の未来～

いずみ高校：イズミツプロジェクト5～生物多様性を守るミツバチの飼育～

熊谷農業高校：輝きを取り戻せ「彩の国黒豚」～地域共生で埼玉の黒い宝に輝きをかけて～

##### 【工業部会】

三郷工業技術高校：技能五輪全国大会、情報ネットワーク施行の予選となった学年日本一決定戦に向けた取組

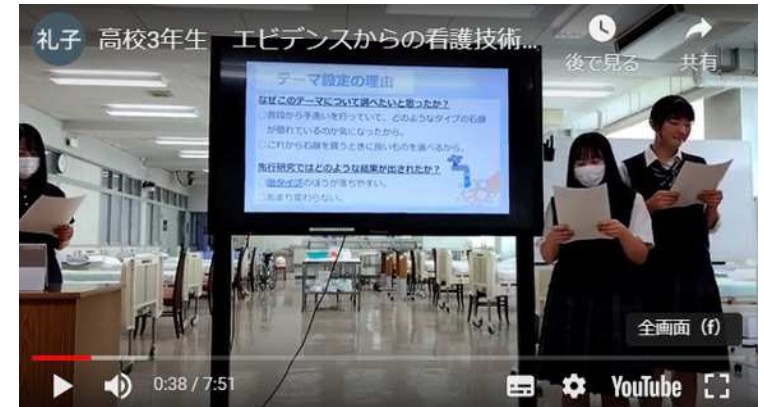
##### 【商業部会】

所沢商業高校：食品安全に対する消費者の意識について

##### 【家庭・看護・福祉部会】

常盤高校：テーマ【石鹸の形状によるもっとも洗浄効率のあるものについて提案します】

新座総合技術高校：ファッションショー



生徒実践動画

#### 専門高校紹介 【ホームページ】

専門高校のコンテンツを設け、魅力を発信

- ・専門高校紹介動画（各専門部会作成）
- ・各部会の紹介動画
  - 農業部 工業部
  - 商業部 家庭・看護・福祉部
- ・リーフレットやパンフレットをホームページに掲載



専門高校の紹介動画・各部会の紹介動画



専門高校紹介リーフレット



### 3 成果と課題

#### (1) 成果

## フェア当日参加者及びホームページアクセス数等

・ **当日参加者** 約 1,300名 (昨年約700名)

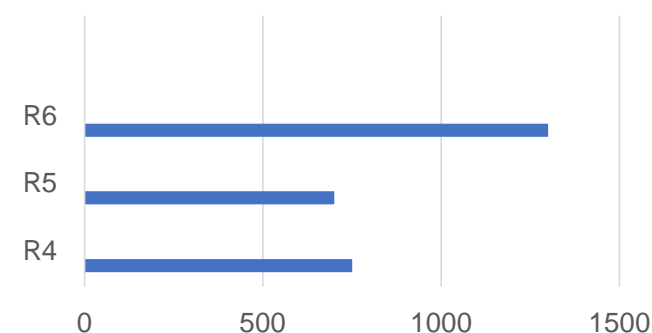
～フェア周知方法～

デジタルサイネージ、ラジオ（FM NACK5）、彩の国だより、県・専門高校のHP等、ポスター・チラシ配布、PRイベント（イオン・丸広）、小・中学校教員研修での周知

～新たなフェア周知方法～

Instagram、全県の小・中学校向け通知、パルシステムの広告

産業教育フェア参加者数



・ **ホームページアクセス数**

71,243アクセス (11月9日現在)

フェア当日 (昨年度: 約40,500件)

・ **Instagramフォロワー数**

206フォロワー (11月9日現在)

今年初めて実施

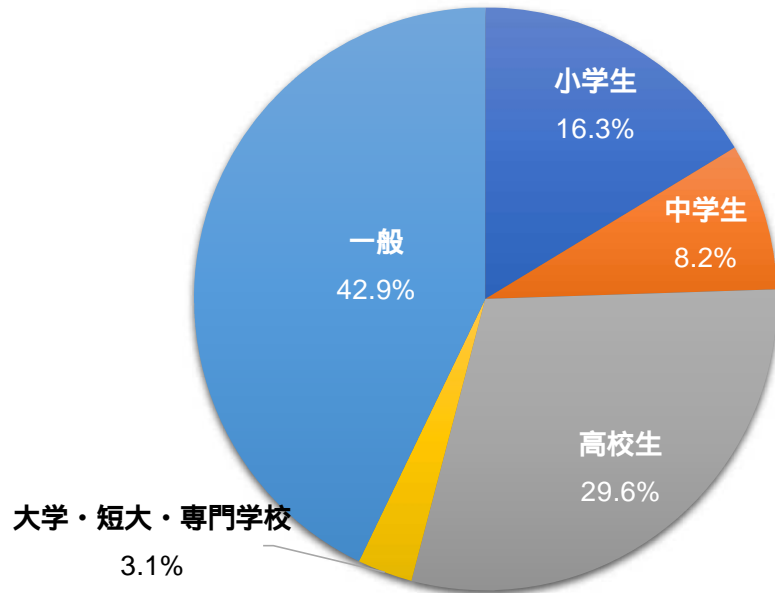
### 3 成果と課題

#### (1) 成果

## 来場者アンケート結果

回収率 30.1%

第34回埼玉県産業教育フェア参加者の割合



### < 来場者アンケートのコメント >

高校生が親切に教えてくれたので、よくできました。特に物を作るところで、いろいろな体験ができました。

(小学生)

VRを体験して牛乳ができるまでを体験した。VR映像も牛の世話も全て高校生がやってるのは本当にびっくりした。

(小学生)

初めて参加しました。専門高校のことがよく分かりました。体験は高校生が丁寧に教えてくれて分かりやすかったです。

(中学生)

とても楽しいイベントでした。いろいろな企画があって小さい子供から大人まで幅広く楽しめるイベントでした。特に高校生が運営していて、説明も丁寧で分かりやすかったです。また、このイベントがあれば参加したいです。

(一般)

## 3 成果と課題

### (1) 成果

#### 生徒の技術力・創造性や課題解決能力、コミュニケーション能力等の向上

生徒は、実践発表や体験教室をすることで、生徒自身の知識を深め、技術・コミュニケーション能力を向上させることができた。また、企業との連携により、実践的な体験をし、自己の研究を深め、生徒は将来のキャリアに向けた経験を積むことができた。

生徒実行委員会では、生徒が主体的かつ自主的に企画を考案し、企業など多くの方から支援を受け、イベントを成功に導くことができた。

#### 産業教育への県民の関心と理解の向上

ホームページに加え、Instagramによる周知を初めて行った。また、盛り上げイベントやキッチンカーの誘致など、新たな企画により参加者が増加し、産業教育を広く県民の関心と理解を高めることにつながった。

### 3 成果と課題

#### (1) 成果

## 生徒実行委員を務めた生徒のコメント

初めて会う人達とチームになって一つの企画を作り上げていくことがほとんど初めてだったので、他校の生徒とコミュニケーションを取っていくことが大変でもあった。

話合いなどを何回も行って本番に向けて準備するという大切さを学びました。

自分の高校以外の専門高校について知り、仲良くなれてすごく嬉しかったし同じ専門職を目指す仲間ができてよかった。産フェを成功させるために、初めて会った人とも協力し、一つの大きな目標に向かって計画を立てる重要さを学ぶことができた。

高校生が中心で産業教育フェアが初めてで、運営を知らない人も多い中不安でいっぱいでしたが、無事に開催ができてよかった。貴重な体験ができてとても楽しかった。

他校の生徒などに関わる機会は少なく、初めての顔合わせの時にはすごく緊張したが、当日までにたくさんの人と仲良くなれて、話すことができてすごく嬉しかった。この経験を今後の学校や進路に生かしていきたい。

### 3 成果と課題

#### (2) 課題と今後の方向性

##### 課題

###### 生徒の技術力・創造性や課題解決能力、コミュニケーション能力等の向上

生徒の能力をより向上させるには、様々な人とのつながりを作ることが有効であるため、学校間での共同した取組など企画内容を工夫する必要がある。

###### 産業教育への県民の関心と理解の向上

さいたま市周辺の来場者が多く、県内全域の県民に対する専門高校の魅力発信につながっていないため、開催方法を見直す必要がある。

専門高校の入学希望者を増やすためには、中学生に対するアピールが必要となるため、企画や周知の工夫が必要である。

##### 今後の方向性

###### 生徒の技術力・創造性や課題解決能力、コミュニケーション能力等の向上

学校間で連携した共同プロジェクトなど、他校の生徒と交流を深められる企画を検討していく。

###### 産業教育への県民の関心と理解の向上

中学生の地元でのイベント開催が効果的と考え、県がコーディネートし、県内の4地区に分散するなど、地域に密着した産業教育フェアの実施に向けた準備を進めていく。

生徒実行委員会を中心に中学生向けの新たな企画の考案やInstagramの内容の精査など、中学生が興味関心を持つような仕組みを構築していく。